

修了式～1年間を振り返る～

3月14日(金) 令和6年度の「修了式」を迎えました。年度の終わりとなり、また新たな春が訪れる準備期間へと入っていきます。この1年間は、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねてこれたのでしょうか。できたこと、得たもの、足りなかったもの、出来なかったこと…。必ず振り返りをして、次につながる期間としてください。

さて、そんな節目の日にはふさわしい一首をご紹介します。

「年くれぬ 春来べしとは 思ひ寝に まさしく見えて かなふ初夢」(西行)

(年が暮れ、春がやってくるだろうと思ひながら眠りにつくと、夢の中で春の訪れがはっきり見えた。目覚めてみれば夢と同じく春の訪れを感じる朝ではないか)

1年間を振り返り願うのは「来年はよりよい年を過ごしたい」という想い。希望を胸に新たな一年を前向きに迎えていきたいですね。そして、「思い描く」「イメージする」ということもとても大切なことです。夢にまで見るくらい自分を思い描き、どんどん理想の自分に近づいていきましょう。

進路選択の道のりは、時に迷いや不安も伴います。そんな時には、支えとなる、あなたの目標や保護者、さらには友人・先生方・進路指導部…がそばにいることを忘れずに、これからも一步一步、進路実現に向けて進めていきましょう。

春休みで追いつけ追い越せ!〇〇時間の法則

何かを達成するための一つの指針として、「時間」という要素があります。例えば、「10000時間の法則」では、どんな素人でも10000時間の研鑽を積めば達人になれると言われていています。また、「東京大学に合格するには4000～5000時間学習が必要」といった幅のある目分量な指針もネットでよく目にします。

一方で、アメリカの心理学者ジョシュ・カウフマン氏は、「新しいスキルを習得するのに必要な時間は20時間」と提唱し話題になりました。例えば、英会話、小論文、スポーツ、芸術など、どんな分野でも適切な方法で学べば、短期間で基礎を身につけることができるというものです。

これからの受験は多様化し、求められる力も変化していきます。自分の進路選択において障壁になりそうな苦手分野や、新たに挑戦したい分野があれば、この春に1日1時間取り組んでみませんか?春休みの23日間を活用すれば、十分な成長を実感できるはずです。



合格体験発表会～後輩たちに伝えたいこと～

13日(木)に実施された合格体験発表会。受験を終え、大学進学への準備をする中、後輩たちのために駆けつけ話をしてくれました。

会には、7名の卒業生が参加し、後輩たちへ進路に向けて取り組んでほしいことなどをプレゼン。学校選抜型、一般入試、気持ちの持ち方や、高校生活の過ごし方など、リアルな先輩方の言葉に、真剣な表情で耳を傾けていました。

4月からはまたひとつ、高校生としての意識を高めて学校生活を充実させていってください!!

卒業生のみなさんありがとうございました。(プレゼンも作成して話をしてくれました。)



進路より
お知らせ

3月14日(金)

・修了式

4月7日(月)

・始業式

4月上旬

・スタサポ(新2年)

・第1回全統共通テスト模試
(新3年)

